

平成 22 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 藤原 剛

最終学歴	京都大学農学研究科博士課程単取得満期退学	
取得学位	京都大学農学博士	
所属学会	日本ハンセン病学会、日本農芸化学会、日本糖質学会、International Leprosy Association	
専門分野	糖類の合成化学、免疫化学	
研究課題	合成糖鎖を利用したハンセン病および結核の早期血清診断法の開発 合成糖鎖を利用した抗体の抗原認識機構の解明	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境論II (前期・後期) ・ 環境論V (後期) ・ 環境論V I I (前期・後期) ・ 環境論V I I I (前期・後期) ・ 人間論V I I I (前期) ・ 生命科学 (後期) ・ 表現技法I (前期) ・ 世界遺産学概論II (後期、分担)
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境論II ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延世大学医学部 (韓国ソウル市) のSang-Nea Cho博士との受託研究契約 (研究課題: Prevalence of antibodies to phenolic glycolipid-I of Mycobacterium leprae among leprosy patients and their contacts; Chemical synthesis and preparation of NT-P-BSA) に基づいて、昨年度に引き続きNT-P-BSAの大量合成をおこなった。また実際の医療現場の厳しい条件下でも使用できる、簡便で迅速な血液診断法の開発のために様々な合成抗原を調整し、実用性をテストした。その結果ML Flow testを用いることにし、ネパール等でハンセン病感染の疫学調査を実施、準備している。(Cho博士との共同研究)。 ・ 結核の診断のために結核菌特異抗原の三糖鎖を用いた合成抗原 (B-NT-P-BSA) を調整し、実用化のためのテストを行った (Cho博士との共同研究)。 ・ 昨年度に引き続き抗原抗体反応の機構の詳細な解析のため、NT-P-BSAの血清学的性状の研究と立体構造解析ソフトウェア10を用いたPGL-Iの三糖鎖の立体構造の詳細な解析を行った。 ・ 外部機関からのELISAによる抗PGL-I抗体の測定依頼や海外の研究者からのNT-P-BSAの供給依頼に積極的に対応した。 	

<p>【教育上の特記事項】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義科目では ビデオ、OHP等を多く取り入れ、受講生の関心が持続するよう努めた。また、生命科学ではPCRやDNA診断など、最近の研究の進歩をできるだけ多く紹介することに努めた。 ・実験を伴う科目では、実験のために必要な下準備はできるだけ教員側でやっておくことで時間的な余裕を確保し、受講生が落ち着いて実験する事ができるよう配慮した。また、化学の知識が不十分な学生が多いので、詳細な実験マニュアルを作った上で、繰り返し練習を行い、自信を持って実習に取り組めるよう配慮した。希望する学生には講義時間以外にも実験を行い学習を深めることができるよう配慮した。また、環境論VII、環境論VIIIでは、調査結果の発表会を行って、プレゼンテーションのやり方等についても指導した。 ・表現技法：文章表現に関するだけでなく、大学教育に早くなじむことができるよう後押しすることを目指した。 ・世界遺産学：スライドを中心とした講義にして、エルサレムの魅力を十分に伝えるよう努めた。
<p>【社会的活動】</p>	<p>講演：奈良大学教養講座（桜井市）、演題「地球温暖化と代替燃料」</p>
<p>【学内活動】 (学内職歴を含む)</p>	<p>教養部企画委員長 顧問：男子卓球部、奈良大学付属幼稚園ボランティアサークル</p>

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①技術指導		2023年2月1日	おうえんポリクリニク	NT-P-BSAを用いた血清診断についての解説と技術指導を行った。
②				
③				
④				
⑤				